



平成20年3月10日

各位

上場会社名 株式会社 京都銀行  
 代表者 取締役頭取 柏原康夫  
 (コード番号 8369 東証第1部、大証第1部)  
 問い合わせ先 取締役総合企画部長 豊部克之  
 T E L (075) 361-2275

### 第3次中期経営計画「し・ん・か」について

京都銀行(頭取 柏原 康夫)では、今後3年間(平成20年4月1日～平成23年3月31日)に取組む新中期経営計画「し・ん・か」を策定いたしましたので、概要を下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 計画の策定にあたって

平成17年4月に策定した中期経営計画「Scale」(平成17年度～19年度)では、経営ビジョンである「広域型地方銀行～利便性の高い銀行～」のもと顧客利便性の向上と規模の拡大をすすめてまいりました。また、当行では、更なる高みを目指し、役職員一体となって、「地銀トップテン入り」という夢に向かって挑戦を続けております。

一方、取り巻く環境は、少子高齢化の進行、団塊世代の大量退職といった社会構造の変化に加え、ゆうちょ銀行の発足、地銀の再編、異業種からの銀行業参入等、競争環境はますます激化すると予想されます。

このような状況のもと、いかなる環境の変化に対しても揺るがない経営基盤を構築し、常に安全・安心を提供していくとともに、近畿2府3県において、なお一層、存在感を高めていくことが必要となってきました。

新中期経営計画は、「広域型地方銀行～利便性の高い銀行～」をより進化させ、地域社会と共感・共生する企業づくりを目指すことにより、「更なる成長」と「質の向上」の実現をはかってまいります。

そして、「地銀トップテン入り」という夢を着実に実現していき、更には将来のグランドビジョンとして「地銀トップ5入り」を描き、進化し続けてまいります。



少子高齢化の進行

団塊世代の大量退職

ゆうちょ銀行誕生

地銀の再編

異業種の参入

環境変化

## 2. 新中期経営計画フレームワーク

計画名称

# し・ん・か

基本方針

## 企業真価の向上と地域社会との共感・共生

広域型地方銀行としてスケールメリットを追求するとともに、株主の皆様、お客さま(地域社会)、従業員の満足度向上に向けた三位一体経営を実践していくことにより、企業真価の向上に努めてまいります。と同時に、環境問題をはじめとした地域貢献活動への積極的な取組みにより、地域社会との共感・共生をはかってまいります。

目標数値

貸出金残高	3兆9,000億円	業務粗利益	1,000億円+
預金+譲渡性預金残高	6兆2,000億円	当期純利益	250億円+
預り資産残高+個人年金保険販売累計額	1兆円		

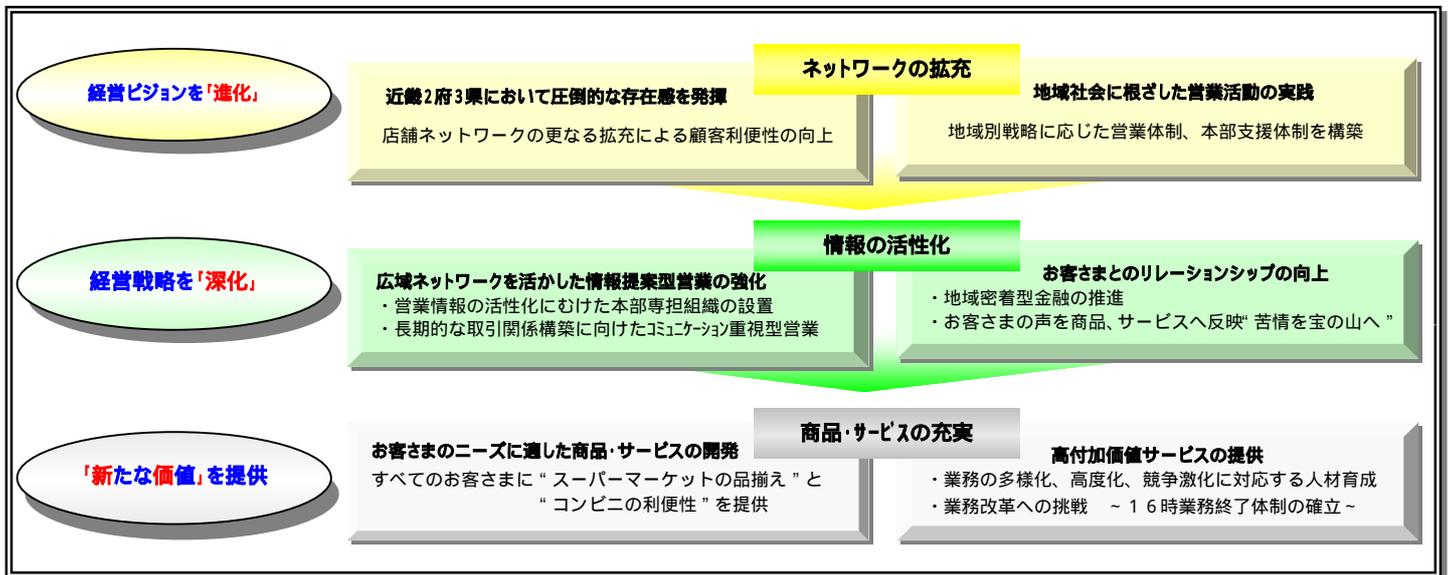
3つのキーワード

ネットワークの拡充

情報の活性化

商品・サービスの充実

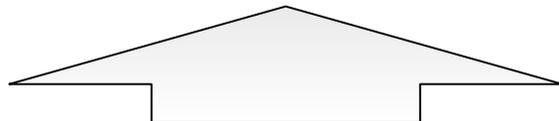
店舗ネットワークの一層の拡充をすすめていくことにより、お客さまの利便性向上に努めてまいります。広域ネットワークから得られる情報の活性化をはかることにより、提案型営業の強化とお客さまとのリレーションシップの向上に努めてまいります。お客さまの声や営業情報をもとに、商品・サービスの一層の充実、改善に取り組んでまいります。



インフラ強化

顧客満足度の向上、環境問題への真摯な取組、リスク管理の高度化、コンプライアンスの徹底

3. 基本戦略と重点施策



**顧客満足度の向上・環境保護戦略**

**経営管理態勢の強化戦略**

目指すべき姿：顧客満足度日本一の銀行  
CSスローガン：「あなたの笑顔がうれしい」  
CSスキル向上・CS向上活動の強化  
環境問題に配慮した企業活動の実践

統合的リスク管理態勢の確立  
顧客保護等管理態勢の強化  
適正な労働時間の管理  
業務監査によるリスク管理態勢の検証

コンプライアンスの徹底  
不祥事故の防止